



やまじ さゆり  
山路 小百合



しみん  
市民クラブ

### 公正公平な市政を確保するためには

**問** 住民の信頼を得られる組織づくりには、まず内側である市役所内での信頼関係を構築する必要がある。よって、一番大事なことは、職員の上下関係の信頼を築くことである。その件も踏まえて、条例の制定に当たり、市長の考えや思いは。



### 上司が毅然と対応し職員間の信頼を築く

**答** 職位の上位者が統制を利かせ、まとまりのある職場環境を作っていくことが大きな課題であると考えます。

この課題を解決するためには、職員の上下関係の信頼を築いていくが必要になるが、これには上司が毅然と対応することが求められる。よって、このような対応をとれるような体制を整えていくことが大切であると考えます。

その上で、各職員が市民のために働くことについて、自らの責務を考え、公正公平にしていることを実行し、それを幹部職員がうまく管理することで、この市役所がいい形で再スタートできるようにする。

### ●その他の質疑・質問●

- 医療従事者の意見が反映される地域医療の環境整備について
    - 看護職不足について
    - 医療従事者の誰もが意見を言える機会づくりを
  - お城公園の環境整備について
  - 小・中・義務教育学校における児童生徒のメンタルを考えた取り組みについて
    - 不登校児童生徒の学びについて
- など



▲津市の合併前から止まっているお城公園のポンプ設備



たけした さちこ  
竹下 幸智子



にほんきょうさんどうつしぎだん  
日本共産党津市議団

### 中学校卒業まで子ども医療費の窓口無料化を

**問** 長引くコロナ禍により、不安定な生活を強いられたり、収入減に追い込まれたりと深刻な影響が広がっている。コロナ禍においても、お金の心配なく、安心して病院にかかれるようにすべきである。

昨年より四日市市では中学生まで窓口無料化を実施している。県都の津市こそ、子どもの医療費の窓口負担は中学校卒業まで無料にすべきと考えるがどうか。

### 国の減額調整措置の廃止に向け要望していく

**答** 医療費の窓口無料化に伴い国民健康保険の国庫負担金の減額調整措置があり、国に対して要望した結果、未就学児については廃止され、津市でも平成30年9月から未就学児の医療費窓口無料化を実施している。

しかし、未就学児以外は現在も引き続き不合理な減額調整措置が残されている。

また、中学生についての医療費助成は、市単独で行っており、窓口無料化の対象拡大は、さらなる財政負担を要する。

このことから、中学生までの医療費の窓口無料化を実現するために、引き続き減額調整措置の廃止に向け、市長会などを通じて強く要望していく。

### ●その他の質疑・質問●

- 教職員の過重労働の軽減に向けて
    - 時間外労働の実態はどうか
    - 変形労働制は導入するな
  - 学校給食会計の公会計化を
  - 障がい福祉サービス事業所の管理運営の在り方について
  - 公共施設・学校のトイレに生理用品の設置を
  - 選挙投票率を向上させるための取り組みについて
- など



▲教職員の労働時間軽減で笑顔溢れる教室を